

プログラム

12/8 ㊤ 13:00～18:00 5 階小ホール



13:00～	開 会 【小ホール1】
13:15～	シンポジウム 県協会の未来を拓く ～育てる・つながる・そして受け継ぐ～ 助言者：NSK 代表理事 富岡貴生氏 パネリスト：各県協会 代表者と次世代を担うホー 進 行：NSK 理事 小島一郎氏
15:30～	行政説明 厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官 小川陽氏
16:40～	基調講演 「現行制度をどう活かし 相談支援体制の強化につなげるか」 講 師：長野大学 准教授 相馬大祐氏 東洋大学福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了 現在、長野大学社会福祉学部准教授 相談支援従事者指導者養成研修コア委員等 主に相談支援専門員の実践や人材育成等に関する研究を行っている。
18:15～	交流会 【小ホール2】 ※終了予定 20:15 希望者別途 5,000 円

講師紹介



12/9 ㊤ 9:45～15:15 11 階会議室

9:45～ 第1分科会 1101 会議室

意思決定支援コース
講師：淑徳大学副学長
鈴木 敏彦氏

講師紹介



平成 29 年 3 月に「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が示されたものの、実際の障害福祉の現場で「意思決定支援」の実践は進んでいない現状があります。神奈川県意思決定支援専門アドバイザーとして実践に取り組んでこられた鈴木敏彦先生をお招きし、神奈川県における実践事例を学びながら、日常生活場面における具体的な取り組みや組織体制の整備、多職種連携を進める方法を講義と演習で学びます。

第2分科会 1102 会議室

障害児支援コース
講師：社会福祉法人麦の子会理事長
北川 聡子氏

講師紹介



こどもの意思決定支援、みなさんはどのように取り組んでいますか？令和 5 年 3 月に「障害児入所施設及び障害児通所支援事業所を利用する障害のある子どもの権利擁護の在り方に関する調査研究報告書」がまとまり、こどもの意思の尊重の実現に向けた取り組みの進め方を示した「手引き」も示されました。その「報告書」の作成に携わられた北川聡子氏を迎え、こどもの意思の尊重等について、講義と演習で学びます。

15:00～ 閉会式 【1101 会議室 1102 会議室】 ※終了予定 15:15

会 場

愛知県産業労働センター ウィンクあいち
〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-3 8



ウィンクあいち

申込先

下記 URL、もしくは右の QR コードからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/4M6W50QdXU>
※お申込に際し裏面の「開催要項」を必ずご覧下さい。
※宿泊先等は各自でご用意くださいますようお願いいたします。



開催要項

研修に関するお問合せ askyoukai@yahoo.co.jp ☎ 050-3101-5909
東海北陸ブロック研修会実行委員会 愛知事務局（担当：鈴木）

お申込み
QR コード



研修参加費 会員 5,000 円
非会員 8,000 円
学生 1,000 円
※1 日のみの参加も同額です

絵画：杉山勇輔（表紙「愛あふれる♡名古屋城」裏挿絵「天むす」）作家プロフィール QR



BYUCHIKO.S_GO

令和 7 年度
日本相談支援専門員協会
東海北陸ブロック研修会
愛知県大会



©y.sugiyama

12/8 ㊤ - 9 ㊤ 愛知県産業労働センターウィンクあいち

主催 特定非営利活動法人愛知県相談支援専門員協会
特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会
日本相談支援専門員協会 東海北陸ブロック研修実行委員会
後援 愛知県 名古屋市

令和7年度日本相談支援専門員協会東海北陸ブロック研修会愛知県大会

開催要項

テーマ ともに学び、ともに選ぶ未来へ～意思決定支援でつなぐ権利と暮らし～

1. 開催趣旨

相談支援専門員は、障害のある方々の意思を尊重し、その人らしい暮らしの実現を支える重要な役割を担っています。本大会では、「ともに学び、ともに選ぶ未来へ～意思決定支援でつなぐ権利と暮らし～」をテーマに掲げ、日々の実践を振り返りながら、専門性の向上と相談支援専門員同士のネットワークの強化を目指します。東海北陸ブロックの仲間が一堂に会し、各地域の実践や課題を共有することで、より質の高い相談支援を目指すとともに、今後の支援の在り方や人材育成の体制の整備について共に学び、考える機会とします。

2. 主催 特定非営利活動法人愛知県相談支援専門員協会

特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会

特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会東海北陸ブロック研修会実行委員会

3. 後援 愛知県 名古屋市

4. 日程 令和7年12月8日（月）～12月9日（火）

5. 会場 愛知県産業労働センター ウィンクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

1日目 5階 研修会：小ホール1 交流会：小ホール2

2日目 11階第1分科会：1101会議室 第2分科会：1102会議室 控室：1105

6. 内容

1日目	12:15	受付開始
	13:00	開会(小ホール1)
	13:15	シンポジウム「県協会の未来を拓く」 ～育てる・つながる・そして受け継ぐ～ 登壇：東海北陸6県より協会代表者と次世代を担うホープの2名が登壇 進行：NSK 理事 小島一郎氏 助言：NSK 代表理事 富岡貴生氏
	15:30	行政説明 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 相談支援専門官 小川陽氏
	16:40	基調講演「現行制度をどう活かし相談支援体制の強化につなげるか」～地域生活支援拠点等・複数事業所による一体的管理運営・主任相談支援専門員・相談支援員を考える～ 講師：公立大学法人長野大学准教授 相馬大祐氏
	18:00	研修1日目 終了
(移動)		
	18:15	交流会（小ホール2） 20:15 終了予定
2日目	9:30	受付開始
	9:45	第1分科会「意思決定支援コース」 平成29年3月「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が示され、「意思決定支援」という言葉はずいぶん浸透してきたように思います。しかしながら実際の障害福祉の現場で「意思決定支援」の具体的な実践は、思うように進んでいないのが現状ではないでしょうか。そこで神奈川県意思決定支援専門アドバイザーとして津久井やまゆり園利用者の意思決定支援の実践に取り組んでこられた淑徳大学鈴木敏彦先生をお招きし、神奈川県における具体的な実践を学びつつ、日常生活場面における具体的な仕組みや組織としての体制整備、多職種が連携して「意思決定支援」を進めていくための手法を講義と演習で学びます。 講師：淑徳大学副学長 鈴木敏彦氏 ほか

		第2分科会「障害児支援コース」 こどもの意思決定支援 みなさんはどのように取り組んでいますか？国は令和5年3月に「障害児入所施設及び障害児通所支援事業所を利用する障害のある子どもの権利擁護の在り方に関する調査研究報告書」をまとめ、こどもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の実現に向けた取り組みの進め方を示した「手引き」を作成しました。その報告書と手引きの作成に携わられた北川聡子氏をお迎えし、こどもの意思の尊重等について講義と演習で学びます。 講師：社会福祉法人麦の子会理事長 北川聡子氏 ほか
	15:00	閉会式
	15:15	研修2日目 終了

7. 参加対象者

相談支援関係者、行政関係者、障害福祉事業関係者、その他障害者・児への支援に関心のある方

8. 参加定員 150名

9. 参加費

○研修会 会員 5,000円 非会員 8,000円 学生 1,000円

○交流会 5,000円（研修会費とは別に必要）

※2日間通しての参加費です。

※会員とは日本相談支援専門員協会の団体会員である都道府県協会に所属する方です。不明のときは事務局（askyokai@yahoo.co.jp）までお問い合わせください。

※宿泊先等は各自でご用意ください。

10. 資料配付方法

資料は申し込まれた方にデータでお渡しします。当日はデータをお持ちいただくか、印刷してお持ちください。当日配布は演習用ワークシートを除きありません。

11. 交流会「お楽しみゲーム大会」への協力のお願い

交流会ではお楽しみゲーム大会を行い、参加のみなさんに豪華賞品を贈呈する予定です。ゲーム大会に、ご寄贈いただける賞品等ありましたら、ご協力をお願いします。事業所で生産・制作されている授産品、各地域の特産品などなんでも結構です。※必須ではありません。

12. お申し込み方法

参加希望者は、MicrosoftForm（<https://forms.office.com/r/4M6W50QdXU>）にアクセスし必要事項を記入のうえ、11月6日（木）までにお申し込みください。お申し込み後、11月中旬頃までに大会参加証及び請求書を発送（E-mail・FAXのいずれか）いたします。請求書がお手元に届きましたら、内容を確認いただき請求書内に記載されている口座へ10日以内にお振込みいただきますようお願いいたします。

13. 研修に関するお問い合わせ先

東海北陸ブロック研修会実行委員会愛知事務局

E-mail：askyokai@yahoo.co.jp FAX：050-3101-5909

★専従の職員を配置していないため、E-mail及びFAXによるお問い合わせに限定させていただきます。